

萩慈生病院

医療機関2025プラン

平成30年 9月 策定

【基本情報】

医療機関名	萩慈生病院
開設主体	医療法人 社団慈生会
所在地	萩市大字山田 4147 番地 1
許可病床数	184 床
（病床の種別）	療養病床 184 床 （内 医療療養 144 床、介護療養 40 床）
（病床機能別）	慢性期 184 床
稼働病床数	184 床
（病床の種別）	療養病床 184 床 （内 医療療養 144 床、介護療養 40 床）
（病床機能別）	慢性期 184 床
診療科目	内科、神経内科、リハビリテーション科
職員数	138.9 名
・ 医師	5.3 名
・ 看護職員	66.5 名
・ 専門職	56.1 名 （看護補助者 37.1 名含む）
・ 事務職員	11 名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

届出入院基本料 療養病棟入院基本料、介護療養施設サービス費

平均在院日数 361日 , 病床稼働率 97.0%

特徴

慢性期医療を主体として、回復期から維持期の医療と看護、介護、医学リハビリテーションを行っている。また在宅支援のための多機能サービスで切れ目のないサービスを提供している。

② 自施設の課題

地域の老年人口の推移からすると、2020年をピークとして医療需要の減少は確実であり、先を見据えた運営体制（規模の適正化）の検討が必要である。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・急性期医療機関の後方病院として、地域医療の中で慢性期医療施設としての役割を果たして行くこと。
- ・地域包括ケアの中での自院の役割を果たしていく。
- ・難病疾患患者の療養支援

② 今後持つべき病床機能

現病床機能を維持継続

③ その他見直すべき点

- ・病床稼働率及び医療度重症度共に減少傾向にあるため、地域医療需要の動向把握と適正病床規模を検討していく
- ・上記に関連し、医療スタッフ（医師・看護・介護）の確保対策

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	184床		144床
休棟等			
(合計)	184床		144床
介護保険施設へ移行予定	—		40床
うち、介護医療院	—		40床

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標
2019	介護療養病床 40床を介護医療院に転換	地域で過剰な慢性期病床の削減 長期医療・生活施設としての役割

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--